

指導の狙い 目的や意図に応じて、自分の考えを効果的に書く。

- 問題の概要 B②一 提案に対する相手の意見を取り入れて、自分の考えについて理由を書く。
B②二 提案に対する相手の意見を取り下げて、自分の考えと理由を書く。

学習指導要領における領域・内容 [第5学年及び第6学年] B書くこと ア エ 言語事項(1)オ(ウ)

授業アイデア例 例1 は出題した内容を取り立てて指導する例 例2 は出題した趣旨を踏まえ単元化して指導する例

例1 自分の提案の理由を明確にして、相手が納得できるような提案文を書く。

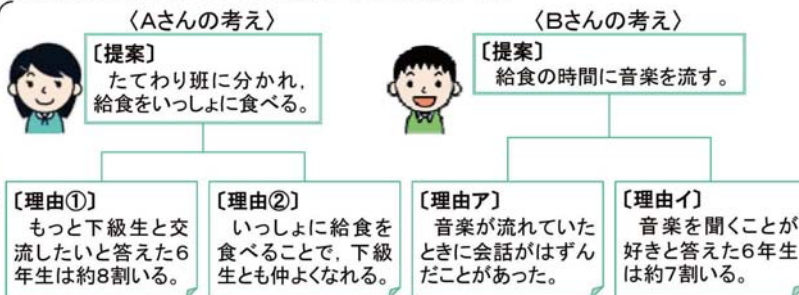
- 1 給食の時間を楽しく過ごすための提案とその理由を各自考え、それらを区別しながらカードに書く。

- 2 各自が書いたカードをグループで読み合い、互いの考えの共通点や相違点を話し合う。

- 3 各自が書いた理由のカードを三つの観点に当てはめ、よりよい理由になるように書き換えたり、書き足したりする。

- 4 理由を明確に表す際の表現について話し合った上で、200字程度の提案文を書き、相互評価する。

【AさんとBさんが書いた提案とその理由のカード】



【理由の三つの観点】

- 【1】 調査(データ)に基づくものか。 ……【理由①・イ】
【2】 体験(エピソード)に基づくものか。 ……【理由ア】
【3】 目的達成により、全体に効果をもたらすものか。 ……【理由②】

【理由を明確に表す際の表現の例】

一つめの理由は、～調査によるものである。 ……上記【1】と関連
二つめの理由は、～体験に基づいている。 ……上記【2】と関連
三つめの理由は、～と考えるからである。 ……上記【3】と関連
*複数の理由を組み合わせるとより効果的です。



教師

例2 自分の提案に対する他者の質問を取り入れ、相手が納得できるような提案文を書く。

第一次

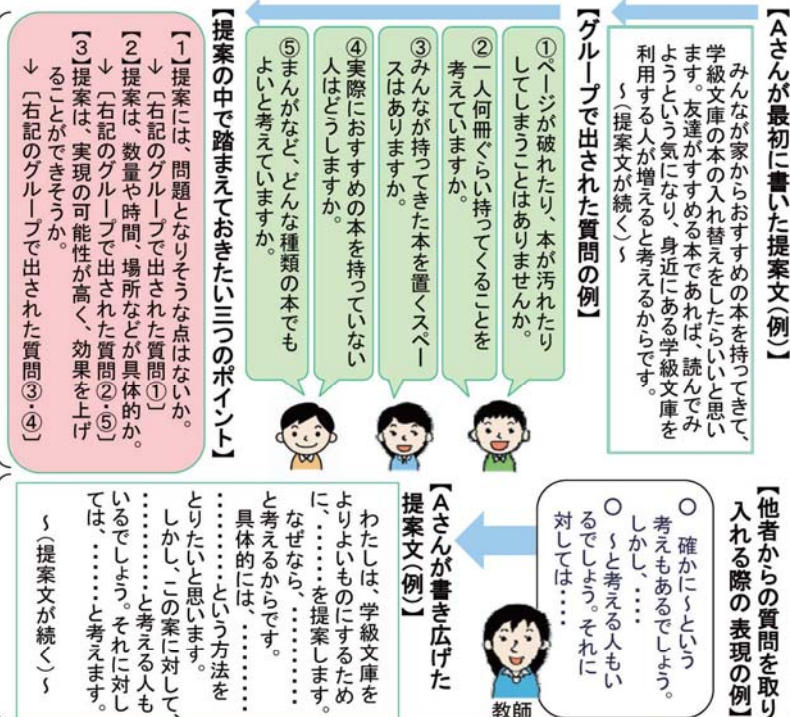
- 学級文庫の利用についての問題点を話し合う。
- 学習課題「よりよい学級文庫にするために相手が納得できる提案文を書こう」を設定し、学習計画を立てる。

第二次

- よりよい学級文庫にするための考えを各自ノートに200字程度で書く。
- 書いたものをグループで交流し、一人一人の考えに対して、疑問に思ったことなどを質問し合う。
- グループで出された質問を「提案の中で踏まえておきたい三つのポイント」に当てはめて整理する。

第三次

- 「他者からの質問を取り入れる際の表現の例」を用いて、400字程度の提案文に書き上げ、相互評価する。



留意点

小学校学習指導要領解説国語編(平成20年告示)では、「B書くこと」の指導事項として「交流に関する指導事項」を設定している。取材の段階から、構成、記述、推敲、交流の一連の過程を重視した指導が大切である。特に、交流は指導の最後に位置付けるだけではなく、それぞれの段階でよい点や改善点を見付けて感想を伝えたり、意見を述べ合ったりすることを全学年を通じて重視していくことが大切である。